

弁護士さんに聞いてみよう!

回答:林 俊孝 弁護士

Q: インターネット上で誹謗中傷の書き込みをされた場合、どう対応すればいいですか?

A: A: 最近、美容外科施術を受けた患者が、匿名でインターネット上に施術院に対する誹謗中傷の書き込みを行う件数が増加傾向にあります。漫然と放置すると各院にとって大きなマイナスになることもありますので、どのような対応が考えられるか以下に考えられる対応策の概要と注意点をお答えします。

- 1) 書き込み内容などから書き込んだ人物を確実に特定できる場合
 - まず、書き込んだ事実の確認と削除などを求めて当該人物に通知を出すなどし、解決へ向けての直接交渉を行うことが考えられます。
- 2) 書き込んだ人物を特定できない場合
 - ① 大型掲示板のように削除の自主ルールを定めているサイトへの書き込みの場合
 - まず、当該サイトのルールに従って削除の要請をすることが考えられます。
 - ② ①のような自主ルールがないサイトへの書き込み場合
 - プロバイダ責任制限法という法律に基づき、所定の書式に記載し当該サイトを管理している管理会社等に書き込み行為者の特定や書き込みの削除を要請することが考えられます。
 - ③ ①・②で効果が上がらない場合
 - 発信者情報の開示、損害賠償等を求めて裁判手続をとることが考えられます。

上記各種手続き等を行うにあたって特に注意していただきたいのは、このような手続きをとることがかえって書き込み行為者の反発を招き、書き込み行為の悪化を招くことがままあるということです。上記各種手続きをとるべきか判断に迷うときや手続きが煩雑でわかりにくいときには弁護士に相談されることをお勧めします。

◆ 会員の皆様からのご質問を受付けております。事務局までご連絡ください。(会員番号を忘れずをお願いします)◆

平成 26 年度専門医認定試験結果

平成 26 年 6 月 7 日に東京ビッグサイトにて平成 26 年度日本美容外科学会専門医認定試験が行われた。
今年の受験者数は 7 名、午前中の筆記試験に合格した者 5 名が午後の口頭試問を受け、専門医認定試験に合格した者は 3 名であった。
合格者(敬称略): 石川勝也、佐藤玲史、橋本聡

第 102 回日本美容外科学会協賛企業一覧

株式会社文光堂書店	アラガン・ジャパン株式会社	ビッグブルー株式会社
PRSS JAPAN 株式会社	株式会社ウェルハート	ハルテック株式会社
ハンスバイオメド株式会社	SOLROS 株式会社	株式会社 総見
株式会社ウイステリア	株式会社ジェイメック	株式会社日本ルミナス
株式会社メディカルロジック	株式会社VIPグローバル	ジェネシスヘルスケア株式会社
株式会社イリョーキ	AQSインソリューションズジャパン株式会社	ライズネット株式会社
MTコスメティクス株式会社	SUN Medical Japan	ダヴィンチテック株式会社
株式会社コスモサウンド	サイノシュア株式会社	株式会社クラシブ
メディカランド株式会社	キャンデラ株式会社	Chungwoo Medical
メトラス株式会社	西本産業株式会社	Ahmjung Medix
キュテラ株式会社	株式会社 Eternal	株式会社 ARTISTIC & CO.
株式会社ドクターズヘア	ソニーイーエムシーエス株式会社	Import Medical Japan(IMJ)
株式会社メディカルユーアンドエイ	株式会社 オゼ	株式会社インディバ・ジャパン
株式会社エムエーコーポレーション	環境プラント工業株式会社ラビスパ事業部	株式会社エストプロ
ワイズ・インターナショナル株式会社	ジェイシスジャパン株式会社	Silimed Korea
株式会社 MEDSTAR	株式会社 INFIX	株式会社バイオビューティー
株式会社プロ・フィールド	株式会社 ダスキン	DAJONG MEDITEC
MSD 株式会社	ルートロニックジャパン株式会社	N. Finder. Co., Ltd.
マーベラスビューティージャパン株式会社	TMSC 株式会社	株式会社シエテルン墨田
クレシオ株式会社	株式会社 セキムラ	ロッソ・スクーデリア株式会社
株式会社カキヌマメディカル	株式会社聖医科器機店	YURIM MEDICAL Co.,Ltd.
エスピオジャパン株式会社	株式会社オーシーメディック	株式会社 Kwin
Eye-Lens Pte Ltd.	株式会社 ランビック	アンプロシア株式会社

順不同



日本美容外科学会新聞

2014年
8月1日(土)
第013号
一般社団法人 日本美容外科学会
〒104-0061 東京都中央区銀座
8-10-8 銀座8丁目10番ビル6階
Tel.03-3571-1270

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会
公式新聞

今月号の
主なお知らせ

第102回日本美容外科学会
第103回日本美容外科学会

第102回日本美容外科学会 ご協力ありがとうございました



日本美容外科学会の次なる発展のステージとして臨んだ第 102 回学術大会
関係者、参加者の皆様のお力添えもあり、盛会のうちに終えることができました。

御 礼

第 102 回日本美容外科学会
学会長 山川雅之

去る 6 月 7～8 日、東京ビッグサイトにおいて第 102 回日本美容外科学会学術集会を盛大に開催できましたこと、心より御礼申し上げます。当日は、日本国内外から 500 人を超える参加者と 70 社からのご協賛をいただき、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

学会長を拝命したときに目指した「美容医療に携わる全ての科が垣根を超えて叡智を集結する場に作る」という目標の下に、今回は「脂肪幹細胞、脂肪組織の現在と未来」というテーマの特別シンポジウムにおいて座長も務めさせていただきました。

Dr. Lim Jong-hak (President of The Korea Academy of Aesthetic Surgery & Medicine (KAAS)) によるライブサージェリーという新しい試みの企画では、技術の実践と共有を実現。参加者の皆様にもご好評をいただくことができました。特別講演では白壁征夫先生 (JSAPS (Japan Society of Aesthetic Plastic Surgery)) に「日本における美容外科の歴史」という演題で、ご自身の研究の最新データの紹介を含めた魅力的なご講演をいただきました。日本の美容医療が歴史的発展の中にあることを実感することができたのではないかと思います。それぞれの講演で、一党一派に偏らず患者さまの幸せを考えた健康美を追究するという学会の基本理念を追究出来たのではないかと感じております。関係者、参加者の皆様のご協力もあり「垣根を超える」に相応しい盛大な学術集会だったと自負することができます。有難うございました。今後も学会活動を通じて、業界のモラルと技術の向上に貢献して参る所存です。

最後になりますが、もとより浅学非力な私に学会運営に携わる機会を与えていただいたことに合わせ、学会を盛り上げていただきましたすべての関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご活躍を祈念申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

そして次回、第 103 回日本美容外科学会は、相川佳之先生を会長に開催することが決まりました。引き続き皆様のお力添え、よろしく御願ひ申し上げます。



ご好評いただいたライブサージェリー

第103回日本美容外科学会 学会長挨拶



この度、第103回日本美容外科学会会長に任命して頂きました、SBCメディカルグループ 総括院長 相川佳之です。2000年に湘南美容外科クリニックを立ち上げ現在では国内40クリニック 海外1クリニック(ベトナム ホーチミン) 美容外科だけでなく、眼科、血管外科、婦人科、整形外科クリニックをスタッフ1200名と運営しております。2022年までに総合病院を建てたいというビジョンで将来はSBCをアメリカのメイヨークリニックのように医学部や看護学部を持った医療法人になる事が私の人生ミッションです。

今回103回学会長に任命していただき大変光栄に思うと同時に大きな責務を感じております。しかしやるからには皆さまに来てよかったと言って頂ける学会にしたいと思います。

まず、私の過去の14年のクリニックの経営経験から学会長講演として、マーケティング、ブランディング、採用、教育、活性化など経営ノウハウを出し惜しみなくお話す事をお約束します。

手術が技術であると同時に経営も技術であるので、きちんと学び経験を積み必ず上手くなりますが、多くの場合基礎を学ばずに独自の方法でやっている方が多いのでうまくいく方もいればそうでない方もいるというのが現状だと思います。

私以外にも医療経営に関するノウハウを持つドクターの発表も予定しておりますので開業医や開業を考えているドクターにとっては今までになく経営について勉強できる学会となるでしょう。

また、発表の内容充実にも力を入れてひとつでも二つでも意味のある情報を手に入れて頂きたいと思っておりますので是非ご期待下さい。

第103回日本美容外科学会のご案内

1. 会期：2015年6月6日(土)、7日(日) (予定)

2. 会場：東京ビッグサイト 会議棟1F (予定)

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

TEL:03-5530-1111 (代表)

http://www.bigsight.jp/

3. 演題募集要項 (全て日本語・英語を併記してください)：

1. 発表者氏名 (ふりがな)

2. 医療機関名

3. 医療機関所在地

4. 演題名

5. 抄録 (和文800字、英文300語、併記)

6. 連絡先住所・電話番号・ファックス番号・メールアドレス

※ 1. から 5. は学会の前に発送されるプログラム・抄録集に掲載されます。

※ 共同発表の場合には、演者名に下線を付してください。

※ 演題発表の申込みは、学会の参加登録をした場合に限り受け付けます。

使用機材：コンピュータープレゼンテーションのみ可能。

データ：USBメモリー、CD、DVDなどで御持ち下さい。

演題発表時間：10分 (演題発表7分、質疑応答などの時間として3分設けます)。

送り先：日本美容外科学会事務局にメールおよびFAXにて送付のこと。

抄録提出期限：2014年12月31日 (一次締切り)

採否の通知：採否は後日通知いたします。

4. 日本美容外科学会事務局：

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8-10-8 銀座8丁目10番ビル6階

一般社団法人 日本美容外科学会事務局

電話：03-3571-1270 FAX: 03-3571-3116

E-Mail: jsas@mac.com

担当：田口順一郎

第102回日本美容外科学会写真



海外からもたくさんの参加者



Dr. パーマンの講演



シンポジウム座長席の様子



熱心に聴講する参加者の皆さん



JSAPSのDr. 白壁と



展示スペースの様子



学会後のパーティーにて